

令和7年9月12日

お知らせ

課名	生活衛生課
担当	原田・三宅
内線	3507・3512
直通	226-7338

有毒植物の誤食に注意してください

有毒植物（イヌサフラン（コルチカム））を原因とする食中毒が発生しました。
身の周りの植物には有毒成分を含むものが多く存在しますので、注意をお願いします。

1 概 要

令和7年6月下旬、岡山県警察から県保健所へ「イヌサフランの喫食による死亡疑いを探知したため、警察で詳しく検査を行う。」との連絡があった。

県保健所が調査したところ、イヌサフランを誤食した可能性があることが判明し、令和7年9月11日、県警察から県保健所へ「イヌサフランの有毒成分コルヒチンが検出された。」との連絡があったことから、県保健所は、イヌサフランによる食中毒と断定した。

患者（死亡）： 県内在住 80歳代

原因： 自宅庭プランターに園芸用に植えていたイヌサフランの球根を
玉ねぎと誤認し、調理して喫食したため。

2 イヌサフラン（コルチカム）の誤食に関する注意喚起について

- ・イヌサフランは有毒成分「コルヒチン」を植物全体に含み、嘔吐、腹痛、下痢、けいれん等の症状を引き起こします。
- ・イヌサフランは、一般的に「コルチカム」という名で園芸用に販売されており、春先から新芽が出て、葉は夏には枯れ、秋に薄紫やピンクの花を咲かせます。
- ・葉のない時期は、球根を玉ねぎ、ジャガイモ等と誤認して喫食した食中毒が起きています。

【全国の過去10年間のイヌサフランによる食中毒発生状況（H27年～R6年）】

事件数22件、患者数29名（うち死亡者数14名）

＜イヌサフランによる食中毒予防の啓発をお願いします＞

- ① 観賞用の花壇と家庭菜園は別につくり、一緒に植えない。
- ② 植えた場所に、植物の名札をつけておく。
- ③ 球根は、子供等の人の手の届くところや、台所には置かない。

【参考（岡山県内の食中毒の発生状況）】

- | | | |
|---------------------------|--------|-----------------|
| 1 今年（1月から今回までの事件を含む）の発生状況 | 6件 | 105名（うち死者1名） |
| | 【うち岡山市 | 1件 21名（うち死者0名）】 |
| | 【うち倉敷市 | 0件】 |
| 2 昨年（1月～12月）1年間の発生状況 | 9件 | 296名（うち死者0名） |

イヌサフランの葉



- ・ 多数の葉が重なって出る。
- ・ 葉は夏には枯れる。

(出典：厚生労働省ホームページ)

イヌサフランの球根



- ・ 直径 3 ～ 5 cm
- ・ 茶色い皮で包まれている。
- ・ 中は澱粉質でジャガイモに似ている。

(出典：宮城県)

イヌサフランの花



(出典：厚生労働省ホームページ)